

総合病院 佐竹院長

「はり姫」との医療連携においては、定期的に専門医を派遣いただいているほか、当院若手医師の指導もいただいております。それによって当院の診療能力も向上してきております。昨年度には当院の研修医2名が、はり姫の救命救急センターで3か月間の研修を積んでいます。

一方、当院も臨床研修病院として、はり姫をはじめ、大学病院、他のへき地医療拠点病院などと連携し、将来の地域医療の担い手を、点ではなく面で育成しております。現在もはり姫の研修医や若手医師が、急性期を脱したあとの患者さんが、その後どのように地域で暮らしていくか、いわゆる地域包括ケアにおける医療の役割や病院間の連携を当院で学んでいます。

今後も地域の皆さんが安心して暮らせるよう、当院とはり姫、そして医師会の先生方、介護福祉部門の方々との連携をより充実させていきます。



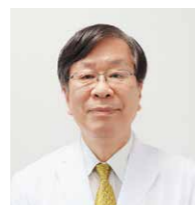
公立宍粟総合病院
さたけ しんすけ
佐竹 信祐 院長

はり姫 木下院長

これからの地域医療連携は、1つの病院がすべての医療機能を抱え込む時代ではありません。われわれ高度急性期病院は、専門医療に特化したモジュール化(機能別の役割分担)と、地域の医療機関とのアライアンス(連携)を進めていくことが必要です。

宍粟総合病院は、播磨姫路圏域北部の中核病院として地域医療を守る役割を担っていますが、今後は新築移転も予定されており、活躍がますます期待されます。高度急性期病院である「はり姫」と、地域医療機関である宍粟総合病院とのしっかりした連携は、今後さらに重要になると考えます。

現在も宍粟総合病院の先生方と「はり姫」の専門医がお互い協力して人材育成を行っていますが、今後はまるで1つの病院の別部門のように相互協力し、地域の方々への医療提供と医療人育成を進めて行くことを期待しています。



県立はりま姫路
総合医療センター
きのした よしかず
木下 芳一 院長



医師の育成で連携 はり姫×総合病院

民間と県立の2病院が統合し、昨年5月1日に開院した「県立はりま姫路総合医療センター」(はり姫)。播磨姫路医療圏域の3次救急や高度専門医療を担うこの中核病院では、現在、若手医師が修練を積む臨床研修病院でもある「宍粟総合病院」と連携して、人材交流が進められています。

3 すべての人に健康と福祉を



総合病院での 研修レポート

ある日の診療応援@宍粟総合病院

県立はりま姫路
総合医療センターの機関誌
『300日目の「はり姫」
より

診療応援とともに、若手医師の育成を。

現在、「はり姫」の総合内科・眼科から4名が、応援医師として定期的に宍粟総合病院で患者さんを診療しています。ある日の八幡医師(総合内科)の診療応援に同行しました。



宍粟総合病院 研修医
児玉 医師

はり姫 総合内科
八幡 医師

八幡医師が担当する内視鏡検査(胃カメラ)の後半で、一部内視鏡操作をおこなう児玉医師。「胃は蠕動(ぜんどう)しているので、『見えた!』の瞬間で撮影しなければテンゴ(テンゴ)よきれいな写真が撮れません。一瞬を捉えるコツを学んでいます」

「『はり姫』の応援医師の方々には、すきま時間にもさまざまな症例を相談したり、レクチャーしていただいたりしています」と話す児玉医師(写真左)の隣で、指導医(写真右)からも「当院は中堅医師が不足していることもあり、『はり姫』の第一線の医師との交流が、若手の修練の刺激になっています」と。

夕刻、宍粟総合病院の会議室にて。八幡医師が「おつかれさまです」と発したモニターの向こうには、「はり姫」の上原医師(脳神経内科 診療科長)。脳梗塞診療のオンライン勉強会。参加した若手医師からは「当院にはない診療科の専門医に少人数でレクチャーを受けられる機会は、とても貴重」の声も。



はり姫への ACCESS アクセス

はり姫は「急性期※病院」です。初診時には、かかりつけ医からの紹介状が必要です。
※病気の症状が現れて、検査や集中的な治療が必要な時期



兵庫県立
はりま姫路総合医療センター

〒670-8560
兵庫県姫路市神屋町3丁目264番地
TEL: 079-289-5080
FAX: 079-289-2080
HP: <https://hgmc.hyogo.jp>

